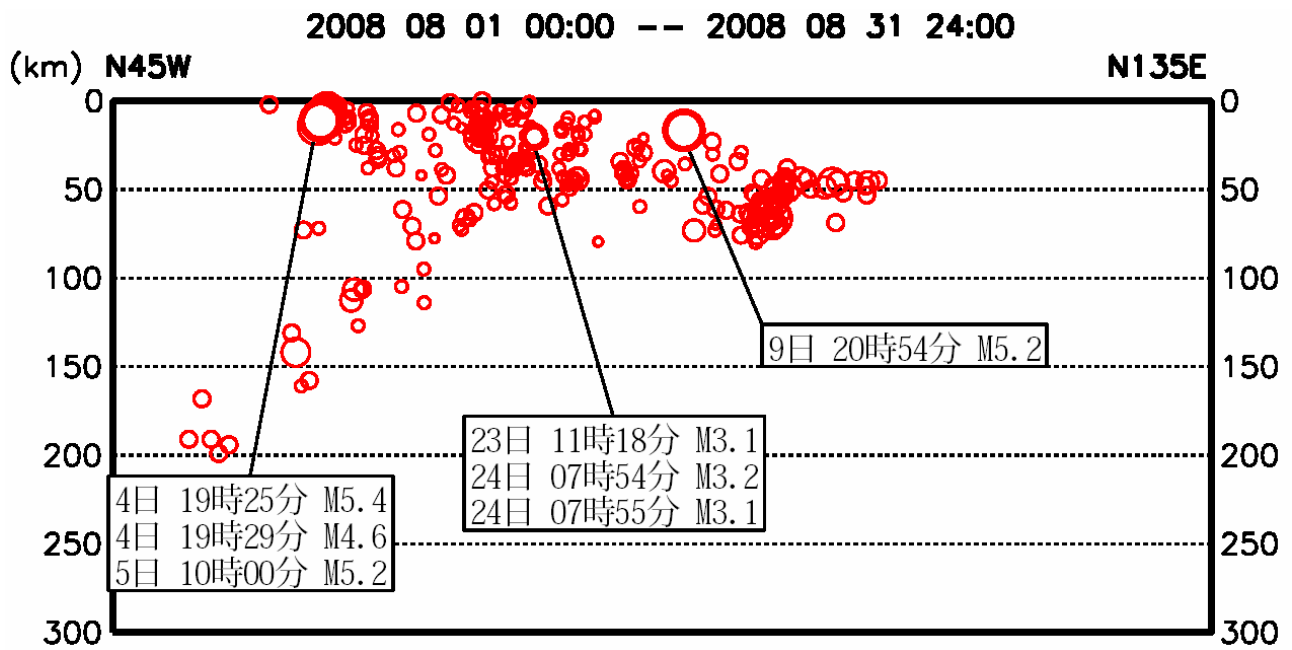


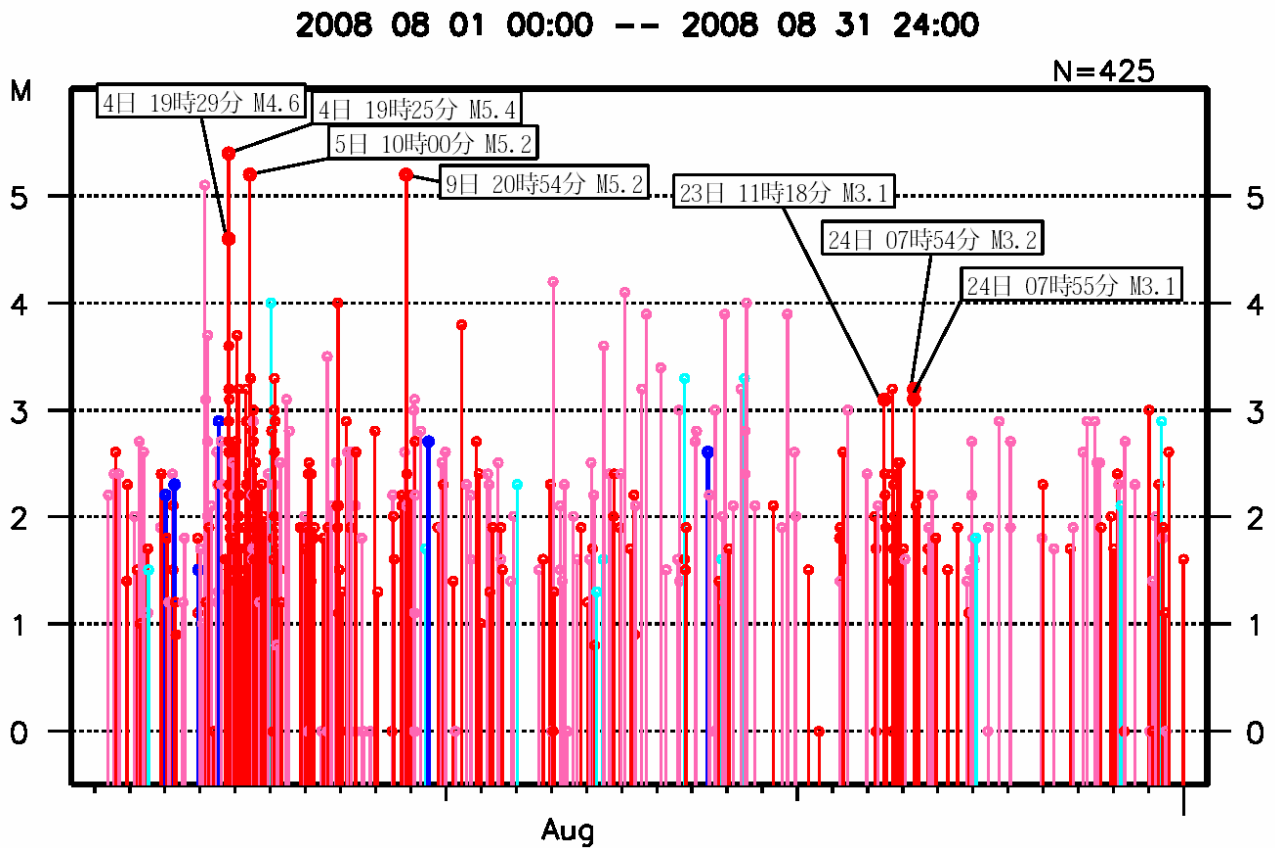
9日20時54分に沖縄本島近海（那覇の東北東約120km）でM5.2の地震（深さ17km）が発生し、沖縄本島中北部で震度2～1を観測しました。

断面図



(震央分布図を南西方向から見た深さ 300km 以浅の断面図)

地震活動経過図



震度1以上を観測した地震の表

2008年8月1日～31日

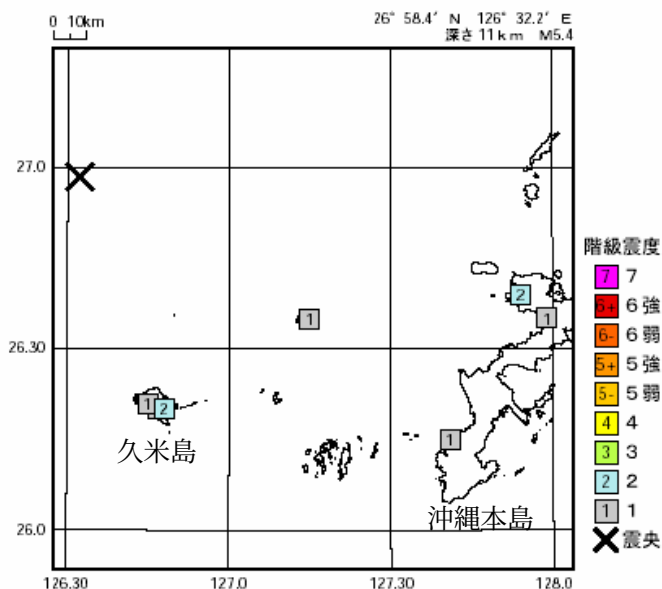
震源時 日時分	震央地名	北緯	東経	深さ km	規模 M
4 19 25	沖縄本島北西沖	26° 58.4'	126° 32.2'	11	5.4
沖縄県	震度 2：本部町役場＊,久米島町謝名堂,久米島町比嘉＊ 震度 1：名護市港＊,栗国村浜,那覇市港町＊,久米島町山城,久米島町仲泊＊				
4 19 29	沖縄本島北西沖	26° 56.5'	126° 32.6'	11	4.6
沖縄県	震度 1：本部町役場＊,久米島町謝名堂,久米島町比嘉＊				
5 10 00	沖縄本島北西沖	26° 58.7'	126° 30.6'	14	5.2
沖縄県	震度 1：久米島町謝名堂,久米島町仲泊＊,久米島町比嘉＊				
9 20 54	沖縄本島近海	26° 29.5'	128° 52.8'	17	5.2
沖縄県	震度 2：名護市港＊,国頭村辺土名＊,今帰仁村仲宗根＊,本部町役場＊ 震度 1：国頭村奥,大宜味村大兼久＊,恩納村恩納＊,伊平屋村我喜屋,読谷村座喜味, うるま市みどり町＊				
鹿児島県	震度 2：与論町茶花＊ 震度 1：和泊町国頭,知名町知名＊				
23 11 18	沖縄本島近海	26° 25.9'	127° 38.0'	20	3.1
沖縄県	震度 1：本部町役場＊,恩納村恩納＊,宜野湾市野嵩＊,沖縄市仲宗根町＊,読谷村座喜味,西原町嘉手苺＊,豊見城市翁長＊				
24 07 54	沖縄本島近海	26° 25.5'	127° 37.7'	20	3.2
沖縄県	震度 1：本部町役場＊,恩納村恩納＊,読谷村座喜味,豊見城市翁長＊				
24 07 55	沖縄本島近海	26° 26.0'	127° 37.6'	20	3.1
沖縄県	震度 1：恩納村恩納＊,宜野湾市野嵩＊,沖縄市仲宗根町＊,読谷村座喜味,嘉手納町嘉手納＊,西原町嘉手苺＊				

※ 地震の震源要素及び震度は再調査された後、修正されることがあります。

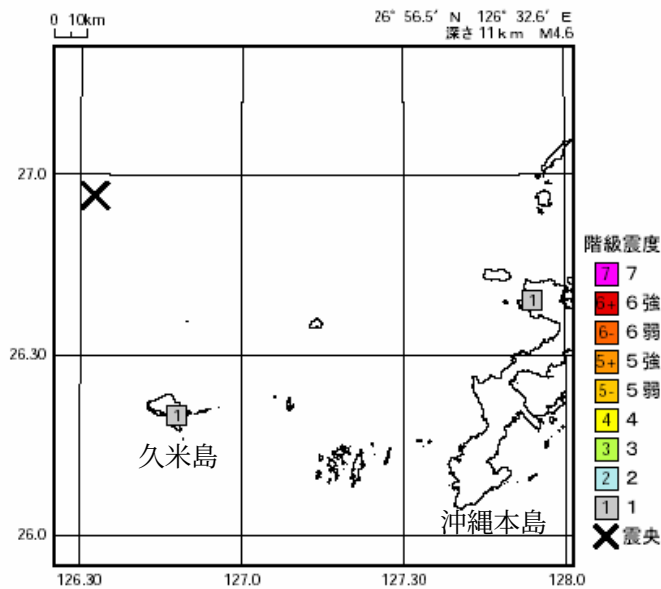
※ ＊は沖縄県（鹿児島県）または防災科学技術研究所の震度観測点です。

震度1以上を観測した地震の震度分布図

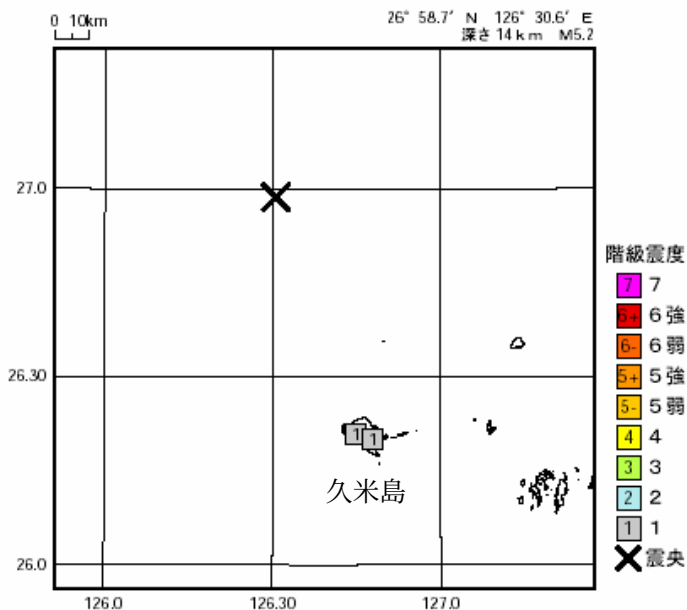
2008年8月4日19時25分 沖縄本島北西沖の地震の震度分布図



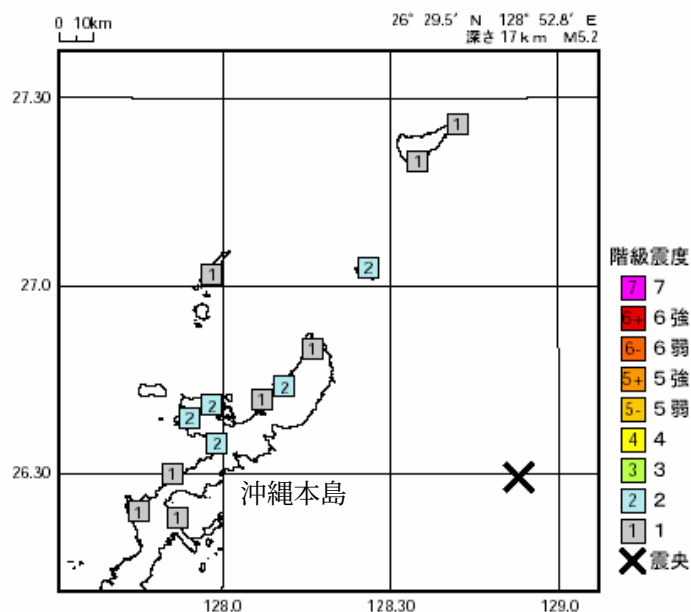
2008年8月4日19時29分 沖縄本島北西沖の地震の震度分布図



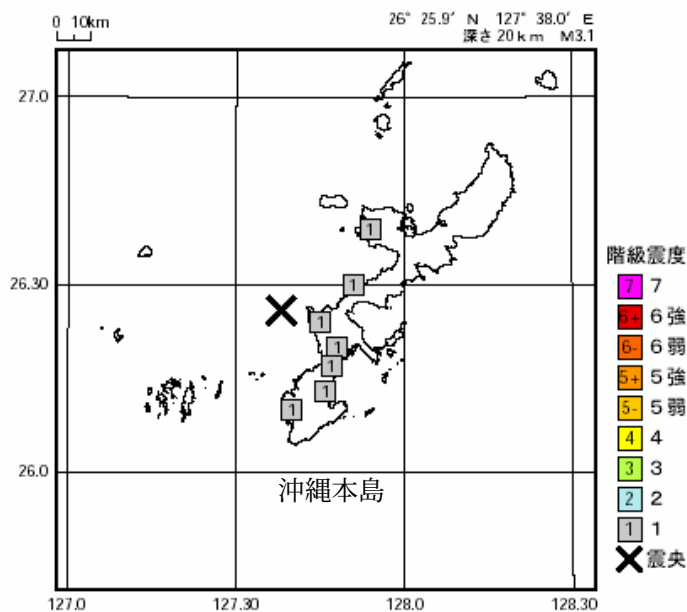
2008年 8月 5日10時00分 沖縄本島北西沖の地震の震度分布図



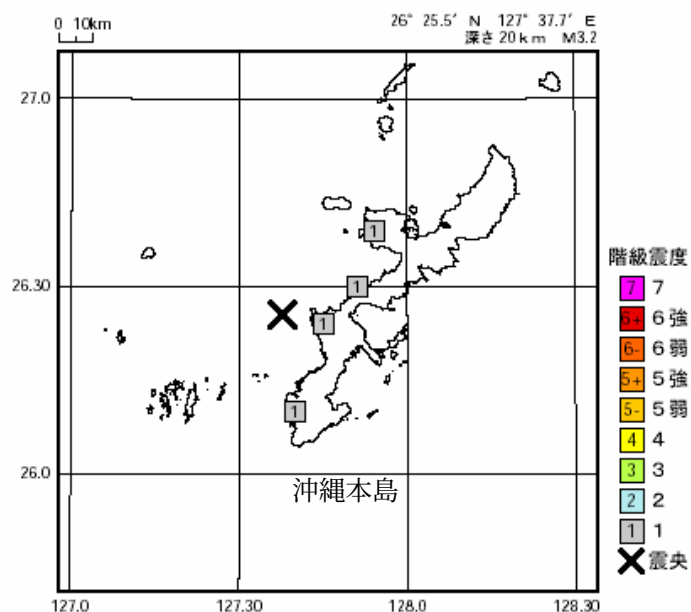
2008年 8月 9日20時54分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



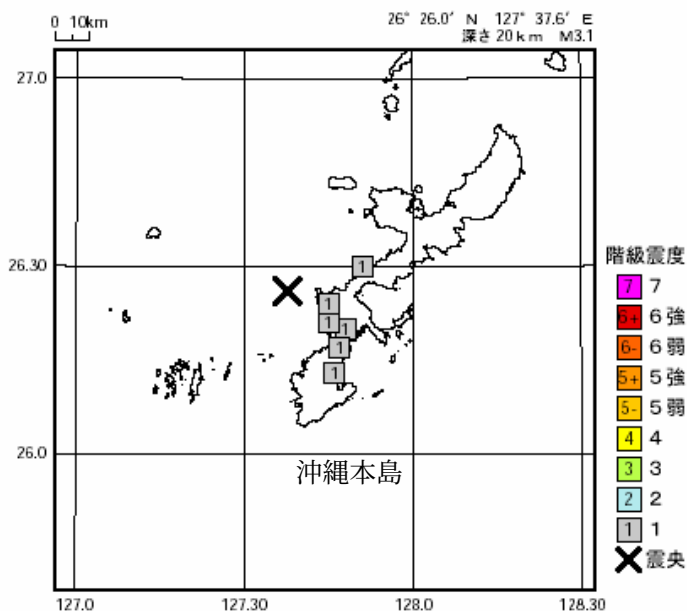
2008年 8月23日11時18分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



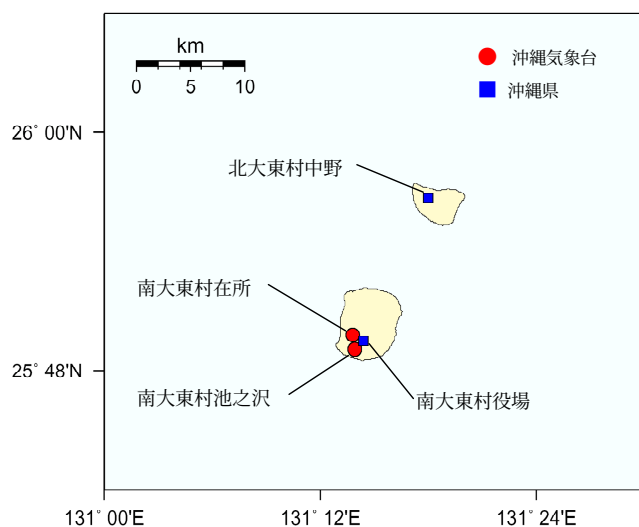
2008年 8月24日07時54分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



2008年 8月24日07時55分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



大東島地方の震度観測点



防災一口メモ

「地震波、縦波（P波）と横波（S波）」

岩盤の破壊により発生する地震波のうち、代表的なP波とS波について説明します。

気象庁では、このP波、S波の各観測点における到達時刻や振幅などを観測することにより、地震の震源、規模などを決定しています。

岩盤の破壊は通常ある面を境に互いがずれるように起こり、この衝撃が地中を波の形で伝わります。これを地震波といい、地震波には、地球内部を伝わる実体波（縦波、横波）と地球表面に沿って伝わる表面波とがあり、伝播速度や振動の性質などがそれぞれ異なります。実体波には、媒質の振動方向が波の進む方向と平行な「縦波」と、媒質の振動方向が波の進む方向に垂直な「横波」とがあります。

P波は縦波で地震波の中で最も早く伝わることから、ラテン語の“最初の”を意味する“*Primae*”（英語の*Primary*に相当）の頭文字をとってP波と呼ばれています。

地震を感じたとき、はじめにガタガタと比較的小刻みに揺れるのがP波です。P波は地殻内を6～7 km/sの速度で、S波より約1.7倍の速さで進み、地球内部のあらゆる部分を伝わります。

S波は横波でP波の次にくることから、ラテン語の“第二の”を意味する“*secondae*”（英語の*Secondary*に相当）の頭文字をとってS波と呼ばれています。S波は地殻内を3.5～5 km/sの速度で進み、地球内部の固体しか通過できません。P波による揺れの後、比較的ゆっくりとユサユサ～グラグラと大きく揺れることから主要動とも呼ばれています。

